

# 令和5年度事業



## 147万円 とうおん健康医療創生事業

産・官・学連携でヘルスケア産業の活性化や新事業の検討などに取り組みました。



## 3億6,291万円 東温スマートインターチェンジ整備事業

防災・医療施設などへアクセス性を高めるため整備を進めました。



## 1,484万円 アートヴィレッジとうおん創生事業

舞台芸術を通じて「まち・ひと・しごと」の好循環を生み出しました。



## 3,906万円 消防団施設整備事業

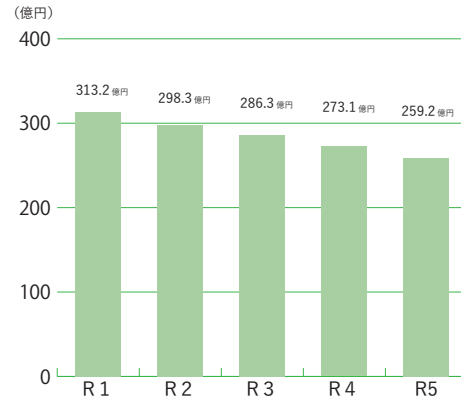
川内支所消防団詰所の改築工事や牛淵消防団詰所用地造成工事などを実施しました。

表② 一般会計決算収支

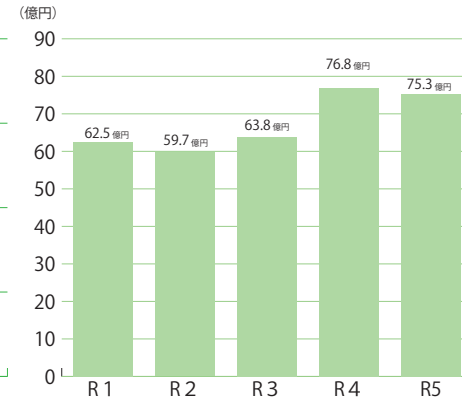
収入額	支出額	翌年度に繰り越す財源額	実質収支
184億5,133万円	172億459万円	1億9,362万円	10億5,312万円

収入額 - 支出額 - 翌年度に繰り越す財源額 = 実質収支

図②-2：全会計の市債残高



図②-1：全会計の基金残高



もしも家計に例えたら 市の令和5年度決算を 月収30万円の家庭に例えてみました

収入	金額	割合
給与(市税、使用料、諸収入など)	80,500円	(27%)
預金の取り崩し(繰入金)	12,300円	(4%)
前月からの持ち越し(繰越金)	19,900円	(7%)
親からの仕送り(地方交付税、国庫支出金など)	172,800円	(57%)
銀行からの借入れ(市債)	14,500円	(5%)

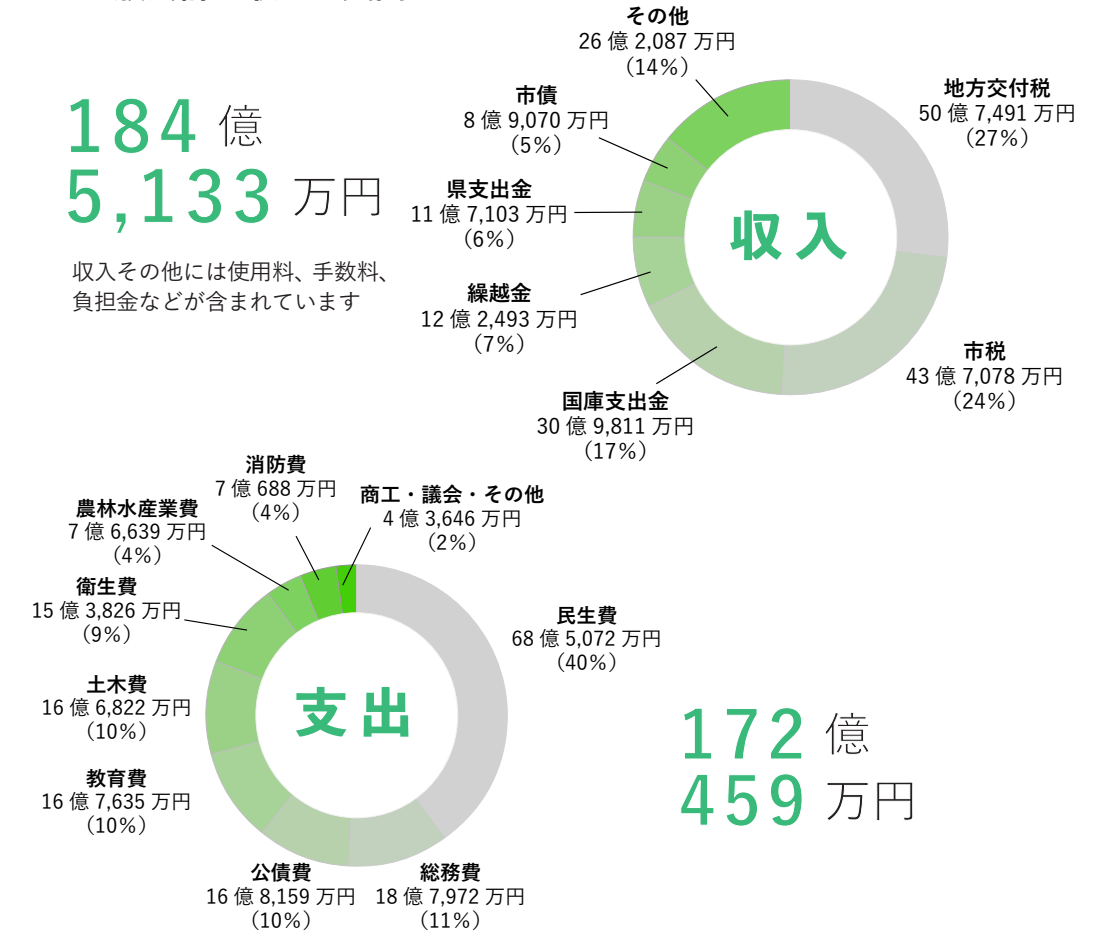
  

支出	金額	割合
食費(給与、報酬など人件費)	53,700円	(19%)
医療、教育費、保険料(扶助費や補助費など)	97,800円	(35%)
光熱水費、電話代(消耗品など物件費)	38,500円	(14%)
子どもへの仕送り(特別会計への繰出金)	18,100円	(6%)
ローンの返済(公債費)	27,300円	(10%)
家の修繕(道路整備などの普通建設事業費など)	34,400円	(12%)
預金(積立金)	9,900円	(4%)
翌月への持ち越し(繰越金)	20,300円	

図① 一般会計の収入と支出

184億5,133万円

収入その他には使用料、手数料、負担金などが含まれています



表① 会計別の収入と支出

会計名	収入	支出	差引額	
一般会計	184億5,133万円	172億459万円	12億4,674万円	
特別会計	国民健康保険	40億5,408万円	37億9,063万円	2億6,345万円
	後期高齢者医療	5億2,216万円	4億8,944万円	3,272万円
	介護保険	45億4,034万円	39億8,248万円	5億5,786万円
	田窪第2工業団地	1億7,949万円	1億7,949万円	0円
	吉久工業団地	1億2,888万円	1億2,888万円	0円
小計	94億2,495万円	85億7,092万円	8億5,403万円	
企業会計	収益的収支	8億1,592万円	9億3,103万円	△1億1,511万円
	資本的収支	3億2,555万円	8億4,057万円	△5億1,502万円
	計	11億4,147万円	17億7,160万円	△6億3,013万円
	収益的収支	11億3,030万円	9億4,495万円	1億8,535万円
下水道事業	資本的収支	4億4,995万円	7億4,491万円	△2億9,496万円
	計	15億8,025万円	16億8,986万円	△1億961万円
合計	305億9,800万円	292億3,697万円	13億6,103万円	

※万円単位で四捨五入しているため、合計及び差引額が合わない場合があります。

公共団体の財政運営が黒字か赤字か判断する要素として重要とされています(表②)。市の会計には、一般会計と区分して経理を行う特別会計と、独立採算制を原則に事業を行う企業会計があります(表①)。特別会計には、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、田窪第2工業団地、吉久工業団地の5つの会計があります。全会計の基金残高は、75億2,966万円で、昨年度比で1億4,808万円減少しました。市債残高は259億1,915万円で、昨年度比で13億8,638万円減少しています(図②)。厳しい財政状況が続いており、今後も市政のため、財政基盤の維持に努めます。

一般会計の令和5年度決算は、昨年度比で収入は約2億5千万円、支出は約2億7千万円減少しました。収入では、東温市土地開発公社から市へ帰属された残余財産収入の皆減などによる諸収入(その他の収入)の減少により、全体で1・3%の減少となりました。支出は、産業用地等整備基金積立金の大幅な減少などによる土木費の減少により、全体で1・6%の減少となりました。歳入と歳出の実質的な差額を表わす実質収支は、10億5,312万円の黒字となっています。形式収支(歳入と歳出の差額)から翌年度に繰り越すべき額を差し引いた額となる実質収支は、地方

# まちの家計簿 令和5年度 決算報告

一般会計では収入が184億5,133万円、支出が172億4,599万円、前年度から収入・支出ともに減少しました。

【用語解説】 ■一般会計…福祉やゴミ処理、道路や公園整備、教育など行政サービスの経理を行う会計 / 地方交付税…全国一定の行政サービスを確保するため人口や税収に応じて国から交付されるもの / 市税…市民税、固定資産税など / 国庫(県)支出金…市が行う事業に対する国・県からの補助金など / 市債…国や金融機関などから資金調達する市の借入金 / 繰越金…前年度から繰り越された剰余金 ■民生費…児童福祉や障がい者福祉など、福祉全般の経費 / 総務費…市有財産の維持管理や戸籍管理、地域振興などの経費 / 教育費…学校教育や文化・スポーツ振興の経費 / 公債費…国や金融機関などから資金調達した借入金を返済するための経費 / 衛生費…ゴミ処理や環境保全、病気の予防などの経費 / 土木費…道路や公園の整備、市営住宅の維持管理などの経費 / 農林水産業費…農林業振興、生産基盤整備などの経費 ■基金…特定の目的のために積み立てられた資金・財産